



阿部 倫之さん(21)
久美子さん(21)
＝胆沢区南都田字林福野＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

子育てに奮闘中の阿部夫妻。結婚2年目の2人は、高校時代のクラスメートでした。交際から5年で娘の心結羽ちゃ(10カ月)を授かり、「高校生のころ、学校帰りによくデートした公園でプロポーズしました」と倫之さんははにかみます。結婚前は仕事のため、盛岡市に住んでいた久美子さん。「ちよつと遠距離恋愛愛でしたが、今は毎日一緒にいられるのでうれしいです」

と結婚の幸せを語りました。離乳食は市販のものを使わず、3食全て久美子さんの手作り。「栄養バランスを考えて、味もいつも同じにならないように」と愛情たっぷり家族5人の食事作りには手間を惜しみません。

「2人の笑顔を見ていると、心が幸せ」と優しい笑顔を見せる倫之さんも、積極的に子育てに協力。お風呂や食事の世話をしたり、仕事で帰りが遅いときも寝かしつけたりするなど、愛情を注いでいます。

祭りや花火大会などには家族そろって出掛けるといふ夫妻。「地域行事や、人との関わりは大切にしたい」と倫之さんは語ります。愛娘の名前は、人との結び付きを大事にし、心と心の架け橋のような存在になってほしいとの思いを込めて名付けました。

2人はこれからも協力し、支え合い、娘の成長とともに親として成長していきます。



今野 啓くん
(江刺区・梁川小学校6年)

Interview

夢トーク 44 将来の夢は「バレーボールで活躍すること」

—学校での役割は？
運営委員会で議長を務めています。うまくみんなをまとめられたときは、やりがいを感じますね。

—小学校生活の思い出は？
トラベラー*で5・6年の全員と続けて成功したことです。4年生の時に、遠足で盛岡市の子ども科学館に行ったことも楽しかったな。

—科学や理科は好きですか？
好きです。内容は難しいけれど、国際リニアコライダーにも興味があります。いろんな施設ができて生活が便利になると思うので、東

北で実現してほしいです。

—理科の他に好きな教科は？
一番は体育です。

—将来の夢を教えてください。
バレーボールで活躍すること。中学生になったらバレー部に入って、高校生や社会人になってもずっと続けていきたいです。

—きっかけはなんですか？
父も兄もいとこもみんなバレーボールをしていて、プレーする姿がかっこいいと思ったからです。僕は未経験者だけど、ランニングをして今から体を鍛えています。

*トラベラー…縄跳びをしながら移動し、複数の人と二人跳びをする技のこと

青春讃歌 8

水沢高等学校 弓道部

- ◎部員数 44人
- ◎顧問 吉田 知治 先生
大平 昌次 先生
津田 和宏 先生
- ◎部長 千葉 智樹 君
吉田 涼穂 さん



0.01の努力を積み重ねて

射位からの的まで28m。桜の花びらがゆるやかに舞う中、放たれた矢は一直線的に的を捉えます。高校総体まで1カ月を切り、水沢高等学校弓道部は張りつめた緊張感の中で練習に励んでいました。

昨年の新人戦では、男子が県大会準優勝。昨年4月から赴任した顧問の吉田先生の指導の下、練習メニューはそれまでのものから一新したといいます。「自分たちの意識も変わった」と話すのは、男子部長の千葉君(3年)。「高校総体では、新人戦での準優勝という結果に甘えることなく悔いのないように射をする。先生に恩返ししたい」。



的を射るまなざしは真剣

好成績を残した男子の姿に、女子部長の吉田さん(3年)も「高校総体で3年生は最後。女子も全員で結果を出したい」と闘志を燃やします。

同部が掲げる共通意識に、どちらも1との差は0.01ずつでも、毎日積み重ねればその差は大きなものになるという「1.01と0.99の法則」というものがあります。顧問の吉田先生も「勉強など抱えるものは多いが、その中でどれだけ真剣に弓道に打ち込めるかが大事」と、日々の努力を惜しまない大切さを説きました。

3年生最後の高校総体に向け、部員は今日も一射に「0.01」の努力を重ねます。



風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

先月、新生前沢小学校が開校しました。同校は、前沢区の7つの小学校が統合され市内最大規模となりました。これまで築きあげてきた伝統文化を引き継ぎ融合しながら、新たな伝統文化を創りあげ、子どもたちが未来に向かって力強く羽ばたくことを切に願っています。小学校建設および開校式に携わっていただき、ありがとうございました。

心より感謝申し上げます。奥州市に春の到来を告げる奥州前沢春まつり、日高火防祭、江刺甚句まつりが先月中旬からゴールデンウィークにかけて開催されました。前沢春まつりは、桜満開、晴天のもと素晴らしい祭りに。日高火防祭は、運行方法の工夫に

より揃い打ちの豪華絢爛さが際立ちました。江刺甚句まつりは、年祝連のエネルギーシユな演舞で祭りを盛り上げていただきました。今年の春祭りは天候に恵まれたこともあり、例年にならぬほどの多くの来場者がありました。どの会場も熱気に包まれ、奥州市の元氣とパワーが県内外に伝わったと思います。祭りに華を添えていただきました25歳と42歳の厄年連、年祝連の皆さん本当にありがとうございました。

胆沢平野を潤す「円筒分水工」の放水が始まり、農作業が最盛期を迎えています。昨年の胆沢ダム完成により、農業用水の安定供給が可能になりました。秋の収穫時期には農家の皆さんの笑みが絶えないほどの豊作になることを願っています。なお、同施設に胆沢ダムの本格使用を記念し、新たに設置された3つの大噴水がお目見えしました。分水工の水圧を利用し高さ24メートルまで噴き上がる様は必見です。ぜひご覧ください。

奥州市長 小沢昌記